

守勢から攻勢で組織展望を!

第22回国労東日本本部拡大委員会開催



二月五日、国労東日本本部は第二二回拡大委員会を東京・交通ビルにて開催し、昨年九月に開催した定期大会以降の運動総括から、中央労働委員会の場での和解の動きなど新たな局面を意思統一し、①JR不採用事件の早期解決を求める闘い②2005春闘③組織強化・拡大の闘い、などからなる当面する闘争方針を意思統一した。

国労東日本本部第二二回拡大委員会は、藤野副委員長の開会挨拶・二六名全員の委員・全構成員の出席を確認し、委員会成立の宣言で幕を開けた。議長には梶田委員(東京・大宮)、副議長には山田委員(東京・新橋)を選出し議事に入った。東日本本部を代表して挨拶に立った佐藤委員長は、冒頭、新潟中越地震で被災

された組合員・家族に対するお見舞いと、義援金の集約に対する感謝をし、「五点にわたる課題と見解」(別掲)を訴え委員会討論を要請した。

来賓では、交通共済関東事業本部・宮坂事業本部部長よりの挨拶、国労会館・後藤専務理事を紹介した。続いて、東日本弁護団報告を順次受け、海渡弁護士は「今年の昇進試験に国労がどの様な姿勢で望むのが問われる。昇進差別を是正させるといふことは組織の将来展望、拡大のうえでも重要である。本音の議論をお願いしたい」、また、福田弁護士は「今回の和解解決の流れを国労の将来展望に位置づけることが大切。和解の戦場は中労委だけではなく最前線は職場であり、職場でどう取り組むのが重要。今回の試験は、『差別を明らかにする』から『差別を是正させる』ために努力を!」と、強調し訴えた。



港区新橋5-15-5
交通ビル
国鉄労組東日本本部
発行責任者 藤勝雄
編集責任者 伊藤隆夫

No.623 定価 20円

2005年
2月23日

もう一人の仲間を国労に
国労加入を
大胆に訴えよう

まず第一の課題は「健全かつ正常な労使関係の確立」についてです。情勢の変化は「劇的」と言っても言い過ぎではありません。

中央労働委員会の精力的な和解作業によって九月一六日、配属一二事件、年が明けた一月二一日、高崎配属事件の和解が成立し全事件の解決を見る事ができました。「和解」の影響は「ペンディング職場の縮小・廃止」を実現し、一五四名の国労組合員が元職種を中心に復帰する事も出来ました。

現在、中央労働委員会は配属事件の一括和解を高く評価し、「昇進事件を中心に配転・出向事件」の一括和解による解決作業を推進しているところです。「国労とJR東日本の歴史的和解」を公式の場で発言する関係者の熱意を真っ正面から受けとめ、局面を転換する決意です。

第二の課題は「組織拡大の闘い」です。情勢を背景に大会以降六名の組織拡大を実現することが出来ました。この流れを確実にしていく努力を今委員会全体で確認していきたく考えます。その条件は確実に拡大していると思えます。

JR東労組は、「退職強要事件」全体の正当性の印象づけに躍起となっており、騒げば騒ぐほど関係省庁には忸怩たる思いが広がり、その批判の矛先はJR東日本経営陣に向けられていると言っても過言ではありません。JR連合は、「国労への総攻撃」を叫び、JR東日本労組(ユニオン)を立ち上げました。しかし、国労の裁判闘争を激しく批判してきた彼ら自身が「配転無効」の裁判を仙台地裁に起こしJR東日本会社との対立関係は決定的となりました。

JR東労組組合員は言うまでもなくJR東日本労組(ユニオン)の組合員にも国労への結集を強く呼びかけたいと思います。

第三の課題は「春闘・労働条件改善・国会闘争」についてです。国労は昨年一

0月以降「制度・諸手当改善」要求を掲げ署名運動を実施して参りました。また貨物「新しい人事・賃金制度導入」に反対する署名についても、期待の大きさを感得することができると思っています。国労東日本本部はこれらの意欲を今春闘に生かし要求の実現に全力を上げていきたいと考えます。

また一六二通常国会は、重要な政治課題・国民生活に直結する法案が目白押しです。特にJR関係を見ると整備新幹線三区間の着工と、同時に三区間から延長する新幹線建設費をJR本州三社に負担させることで合意したとも報じています。民間企業の将来の収入を想定した今回の与党関係者の専断は到底納得できません。また四月には与党自民党を中心とする「憲法改正草案」が発表されるなど日本の進路にとっても重要な国会となり、平和国家日本を守るために奮闘します。



委員長挨拶 佐藤 勝雄

第四の課題は「不採用事件の早期解決について」です。中央委員会では、全国キャンペーンの成果の上に「政治解決に向けた揺るぎない決意」を組織の内外に改めて表明しました。同時に国労東日本本部の任務は極めて重要です。不採用問題発生過程を省みればJR各社が解決に全く無関係のほごがありませぬ。国労東日本本部は引き続き解決に必要な不可欠な環境作りに全力を上げていきたいと思えます。

最後になりますが、「ニューフロンティア2008」について見解を述べたいと思います。昨年の大会で「ニューフロンティア21計画に対する(国労の検証と提言)」をまとめ、組合の立場から「会社づくり」「人づくり」を提言したところで

国労東日本本部は二〇〇五年度から始まる「新計画」に対しても同様の見解を持ち積極的に計画の改善を求めていきたいと考えます。以上、皆さんの先頭に立つて奮闘いたします。

国労北海道本部・国労西日本本部・国労東海本部

来 賓

全交通共済東日本事業本部 本部長 宮坂 義久
国労会館専務理事 後藤 寿
東日本本部顧問弁護士
福田 護 海渡 雄一
国労本部書記長 吉田 進

メッセー ジ

委員発言 要旨

東京(上野支部)・八郷委員

会社が現場で東労組批判。今までに無かったことだ。東労組の陰湿な職場支配を打ち壊して、日頃の世話やき活動が職場での信頼感を生んでいる。東労組がしつかりしている職場は明るい。

長野・粕尾委員

全国キャラバンで、県下一五地区労組会議オケグした。大きく世論形成を行い政治解決に向け集中していこう。



配属事件和解、昇進事件和解協議進展で公平な取り扱いを組合員は期待。現場では仕事を国労組合員が主導している。「仕事総点検運動」に集中を。

東京(大井工場支部)・佐藤委員

国鉄闘争解決に共闘の拡大は不可欠。ねばり強い説得で建交労とも共同行動を。

0五春闘、制度改善や職場要求では国労が多数派だ。目に見える運動作りが必要。「成果主義賃金」の制度矛盾周知に指導性発揮を。

昇進事件和解協議到達点の情報開示は迅速に。

新潟・石川委員

地震カンパに御礼する。地方で共闘は大事な財産。共同戦線統一していくこと考慮し機関の発する文書は慎重な文章表現をお願いしたい。

千葉・浅野委員

「ニューフロンティア」で人減らし「合理化」。効率化と長時間労働の下で、仕事総点検は重要な課題。NF2008ではセルフサービスとコスト削減今以上に。利用者との共同の取り組みも重要になる。

高崎・尾台委員

営業職場は業務委託と無人化が進行している。安全・安定輸送と組合も会社も言っているが、利用者との繋がりを断ち切っていくような姿勢は指摘し、交渉強化を！

東京(八王子支部)・武田委員

昨年一月三〇日、出向期間満了で地区本部内国労出向者七〇名中JR復帰者一八名。本人希望の職場に戻れたのはわずか二三名だった。一旦、出向に出されて再びJRに復帰できるのか。不信が生じている。



仙台・高橋委員

毎回受験しても合格しない。結果、二等級と六等級が同じ責任を与えられている状況だ。これを打破するために国労差別の解消を！

秋田・神谷委員

建交労との共闘は修復の追求を地方からもやっていく事必要。併せて解決への政治的枠組み作りを。昇進差別事件和解への動きに対し、状況を前向きにとらえ受験実態調査成功と昇進試験受験の取り組み強化を。

東京(八王子支部)・水越委員

昇進差別和解の中で、差別がなくなっても会社施策による競



争や不団結要素を取り除く職場の取り組みが重要になってくる。

アルコール検知器による就労判断は出勤時の確認が自然。検知器導入実施後も「施策の検証」の取り組みを。

千葉・清水委員

国鉄闘争は国労だけが政治解決するという質の闘いではない。国労がきちんと裁判取り組むことが重要。

水戸・細谷委員

昇進・配属和解は相手の手の内に乗らないように。競争をなくするのが組合の原点。物販の取り扱い統一していくのならきちんとした説明必要。昇進和解だが、昨年五三三名合格。差別は横行している。実効性の伴う和解を。

東京(新橋支部)・山田委員

和解も闘いの一形態。全組合員の受験調査の取り組み評価できる。まず受験し、不合格ならその理由を確認すること。全員が何らかの形で取り組み運動を始めること必要。

東京(上野支部)・鈴木委員

組織拡大視野に、国労として昇進試験を積極的に受験し組織強化拡大に向け闘う。

盛岡・佐々木委員

全国キャラバンの取り組みの中で、全闘争団員が同じラインに立ち共闘の仲間と再度交流出来るようにしたいと実感した。

配属事件の和解、昇進差別事件和解作業進展の中で二名が国労加入。流れは変わってきた。加速させ組織拡大を。

書記長集約

伊藤 秀樹

一・JR不採用事件の早期解決を求める闘いの取り組み。

①ILO第六次勧告履行を求めて世論喚起を図る。四月に関東国労議員団会議を開催する。②「JR不採用事件の早期解決を求める二・一六集会」成功に向け体制を確立する。③ILO勧告履行は、ITF等を通じて運動展開を図る。(スマトラ沖地震カンパ、一人一〇〇円を取り組む)④「早期解決」に向け団結の回復は重要。今日まで関わりのある闘争団に向け各地本、支部、分会、家族会が国労本部への団結回復・強化のメッセージを送る運動展開する。

二・2005春闘について。二月七日、東日本会社・貨物会社への要求書を提出。要求獲得に向けた運動は以下の通り。

①二〇〇五春闘と結合した「組織拡大」。②会社施策の検証運動「仕事総点検運動」を取り組む。③三・一一東北総決起集会、三・一八貨物総決起・青年部、婦人部、家族会中央行動の成功を期す。④各地方・地区の交運労協春闘総決起集会参加体制の確立。⑤三月七日のITF世界安全行動デーに主要駅頭宣伝体制の確立を図る。⑥「憲法改悪」に反対する諸行動に参加する。⑦ストライキは中央戦術委員会の議論で最終判断を行う。

三・組織強化・拡大の闘いについて。

①三月・四月に昇進弁護団・地方代表者・関係支部代表者合

同会議を行う。②職場の「人間関係」「世話役活動」などの指導・強化を図る。青対部オケグも実施する。③三月・四月を組織拡大月間とする。④六月に第八回組織拡大大会を開催する。以上を本拡大委員会の当面する重要課題の集約とする。

特に本年は、「労使関係の改善」「組織強化・拡大」に向けた重要な第一歩の年となる。

中労委で「昇進差別事件」の和解に向けて調査日程が確定するという状況下での当面する課題は①本年四月から募集開始の昇進試験受験に対する国労の取り組みである。昇進試験に対する組合員の声も様々あるが、JR発足一八年目を迎え、現実に「昇進差別事件」の和解が中労委の場で行われている事実は「差別は許さない」として「昇進差別事件」を地労委に申し立ててきた運動の成果であり、更に運動の前進をめざすために「差別を許さない」「解決を図る」との意思を多くの国労組合員が昇進試験を受験することで示していくことが重要である。

具体的課題は②機関・受験者が試験合格にむけどんな取り組みを行うのかである。和解調査が進んでいるから「なんとかかなる」ではなく、各級機関は各対応支社に①受験者全員に参考資料を配布させる②受験者に公平に講習会を開き、誰でも参加できる体制を作ること等を各支社に要請する。また、分会・受験者も精一杯の努力(仲間同士の学習会)を行うことなどを全体で確認し、新たな局面をふまえて全組合員の総決起を訴え書記長集約とします。

僕のがん保険は、病気もケガも保障する。

しかも、保険料が一生上がらない。保障が一生つく。がん保険を選ぶなら、アメリカンファミリーです。



新健康応援団MAX 終身タイプ 21世紀がん保険 + 特約MAX21

「がん」の生涯保障 <21世紀がん保険>	
BESTプラン・1倍	ご本人の保障
初めて診断されたとき	一時金として がんの場合 100万円 上皮内新生物の場合 10万円
入院したとき	1日につき 10,000円
手術を受けたとき	1回につき 20万円
高度先進医療を受けたとき	技術料に応じて 6~140万円
通院したとき	1日につき 5,000円
がんで死亡したとき	10万円

・保険期間:終身・契約年齢:満3歳~満80歳・解約払戻金0コース

<引受保険会社>
自信があります。私の医療保険。

AFAC アメリカンファミリー生命

東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1989
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障 <特約MAX21終身タイプ>

ケガの保障は90歳までとなります。ご本人の保障 [本人型]

病気で入院したとき	1日につき 5,000円 (1日目から)
ケガで入院したとき	1日につき (手術の種類により)
がんを含む病気・ケガで 所定の手術を受けたとき	5・10・20万円

・保険期間:終身(ケガの保障は90歳までとなります)・疾病・災害入院給付金日額5千円
・契約年齢:満3歳~満80歳(本人型)・1回の入院については124日まで保障 ※日帰り入院(1日入院)とは、入院日=退院日の入院で、入院料の支払いの有無で、入院であるかどうか判定されます。

◎詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約款をご覧ください。

■募集代理店

アベニール 株式会社

TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

AFN広告-2003-015-0402051 2月21日